

## これまでの織田作之助賞受賞作一覧

<1984～2013 年>

### 改定前(1984 年～2005 年)の受賞作一覧

#### ●第 1 回から第 22 回

1983 年(昭和 58 年) 10 月 26 日 織田作之助賞(公募、新人対象)創設

- 1984 年、第 1 回 該当作なし
- 1985 年、第 2 回 中条孝子 「どれあい」
- 1986 年 第 3 回 福岡さだお 「犬の戦場」
- 1987 年 第 4 回 長谷川憲司 「浪速怒り寿司」
- 1988 年 第 5 回 田中香津子 「気流」
- 1989 年 第 6 回 合田圭希 「にわとり翔んだ」
- 1990 年 第 7 回 笠原靖 「夏の終り」
- 1991 年 第 8 回 鈴木誠司 「常ならぬ者の棲む」
- 1992 年 第 9 回 柏木春彦 「切腹」
- 1993 年 第 10 回 大西功 「ストレイピン特急ー越境者杉本良吉の旅路」
- 1994 年 第 11 回 該当作なし
- 1995 年 第 12 回 植松二郎 「春陽のベリーロール」
- 1996 年 第 13 回 該当作なし
- 1997 年 第 14 回 小林長太郎 「夢の乳房」
- 1998 年 第 15 回 上川龍次 「ネームレス・デイズ」
- 1999 年 第 16 回 水木亮 「祝祭」
- 2000 年 第 17 回 該当作なし
- 2001 年 第 18 回 小森隆司 「押し入れ」
- 2002 年 第 19 回 三田華 「芝居茶屋」
- 2003 年 第 20 回 該当作なし
- 2004 年 第 21 回 該当作なし
- 2005 年 第 22 回 松嶋ちえ 「眠れぬ川」

## 改定後(2006年～)の受賞作一覧

### <2005年、賞の改定>

織田作之助賞と織田作之助青春賞の二本立てになる

### ●織田作之助賞(推薦)受賞作一覧

第23回から既刊の単行本が対象(ジャンルは小説、評論、エッセー)

- 2006年 第23回 柴崎友香『その街の今は』、庄野至『足立さんの古い革靴』  
2007年 第24回 西加奈子『通天閣』、小玉武『「洋酒天国」とその時代』  
2008年 第25回 玉岡かおる『お家さん』  
2009年 第26回 中丸美繪『オーケストラ、それは我なりー朝比奈隆 四つの試練』

第27回から、既刊の単行本(ジャンルは新鋭・気鋭作家の小説のみ)対象

- 2010年 第27回 金原ひとみ『TRIP TRAP トリップ・トラップ』  
2011年 第28回 津村記久子『ワーカーズ・ダイジェスト』  
2012年 第29回 いいしんじ『ある一日』  
2013年 第30回 小山田浩子『工場』  
2014年 第31回 朝井まかて『阿蘭陀西鶴』  
藤谷治『世界でいちばん美しい』  
2015年 第32回 堂垣園江『浪華古本屋騒動記』  
三浦しをん『あの人に暮らす四人の女』  
2016年 第33回 崔実(チェシル)『ジニのパズル』  
2017年 第34回 古谷田奈月『リリース』  
東山彰良『僕が殺した人と僕を殺した人』  
2018年 第35回 井上荒野『その話は今日はやめておきましょう』  
2019年 第36回 窪美澄『トリニティ』

### ●織田作之助青春賞(公募)受賞作一覧

第23回から織田作之助のデビュー年齢と同じ24歳までの新人を対象

- 2006年 第23回 該当なし

佳作：久野智裕「一セントコインの女」、土屋三奈「リフレインリフレイン」

- 2007年 第24回 緒野雅裕「天梯」 佳作：宮規子「魚は水の中」  
2008年 第25回 小笠原由記「Innocent Summer」 佳作：深山あいこ「ユメノシマ」  
2009年 第26回 島谷明「マニシェの林檎」 佳作：木田肇「換気扇」  
2010年 第27回 香川みわ「おっさん」 佳作：森田弘輝「逃げるやもりと追うやもり」  
2011年 第28回 柊(ひいらぎ)「コンシャス・デイズ」 佳作：中野沙羅「フリーク」  
2012年 第29回 滝沢浩平「ふたりだけの記憶」 佳作：未来谷今芥「アイランド 2012」  
2013年 第30回 藤原侑貴「通りゃんせ」 佳作：岡田美津穂「橋の下と僕のナイフ」  
2014年 第31回 柳澤大悟「ジンジャーガム」  
2015年 第32回 犬浦香魚子「はきだめ」  
2016年 第33回 中野美月「海をわたる」  
2017年 第34回 馬場広大「みかんの木」  
2018年 第35回 川勝浩人「ママの犬」  
2019年 第36回 丸井常春「檻の中の城」  
奨励賞 楊美裕華「ごまあおぼろげ」

## ●織田作之助 U-18 賞(公募)受賞作一覧

2014年7月に、青春賞に付随して中学・高校生を主とした18歳までの賞を新設

- 2014年 第31回 中原らいひ「池から帰るふたり」  
2015年 第32回 烏月にひる「パチンコ玉はUFO、ブルーのビー玉は地球」  
2016年 第33回 浅田紗希「思い出屋と私」  
2017年 第34回 吉田菜々穂「サイコロバレンタイン」  
2018年 第35回 織田香音「夏が死ぬ」

※2018年より、それまで設けていた「U-18 賞」の趣旨を受け継ぎ、「青春賞」の応募作品の中で18歳以下の優れた作品に奨励賞を贈ることがあります。